

NWQグローバル厳選証券ファンド

(為替ヘッジあり／隔月分配型) (為替ヘッジなし／隔月分配型)

(為替ヘッジあり／資産成長型) (為替ヘッジなし／資産成長型)

設定来の運用状況と今後の見通し

2018年12月14日

※当資料は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

平素は、「NWQグローバル厳選証券ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドの設定来の運用状況と今後の見通しについて、お知らせいたします。

＜基準価額・純資産の推移、組入ファンドの状況＞

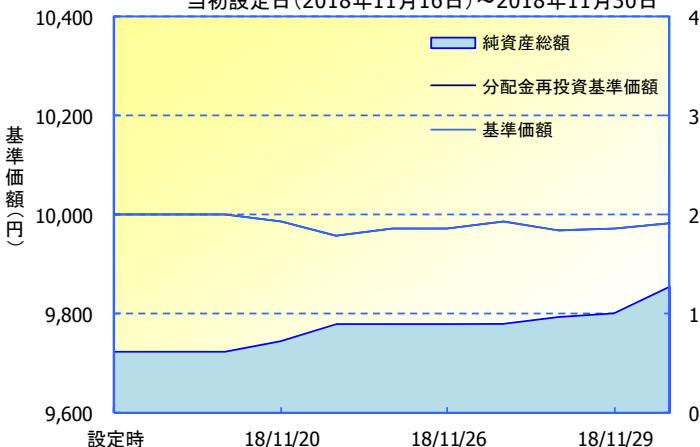
2018年11月30日現在

「隔月分配型」

＜為替ヘッジあり＞

基準価額	9,983 円
純資産総額	127百万円

当初設定日(2018年11月16日)～2018年11月30日

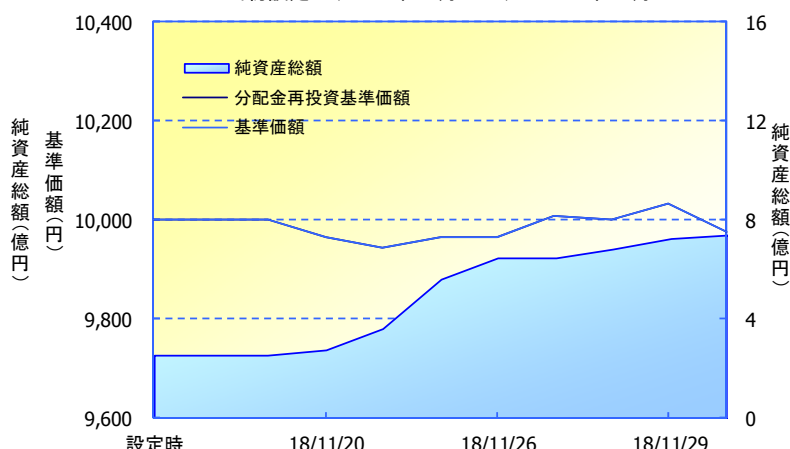


組入ファンド	合計77.9%
ファンド名	比率
スピン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド(円ヘッジ・クラス)*	77.7%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.1%

＜為替ヘッジなし＞

基準価額	9,977 円
純資産総額	739百万円

当初設定日(2018年11月16日)～2018年11月30日



組入ファンド	合計96.9%
ファンド名	比率
スピン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド(ヘッジなし・クラス)*	96.8%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.1%

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

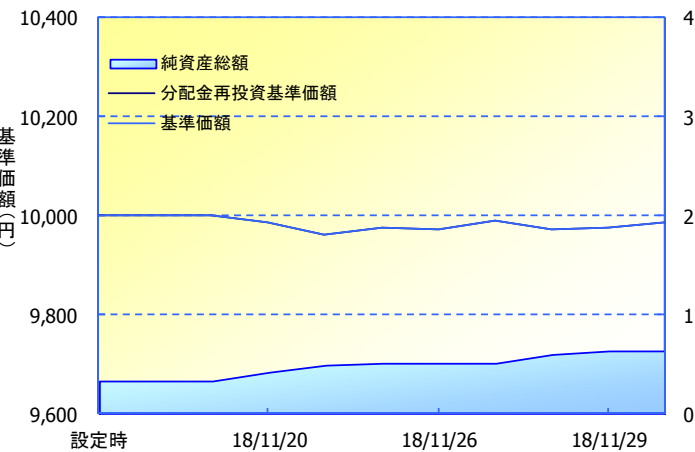
Daiwa Asset Management

「資産成長型」

＜為替ヘッジあり＞

基準価額	9,988 円
純資産総額	62百万円

当初設定日(2018年11月16日)～2018年11月30日

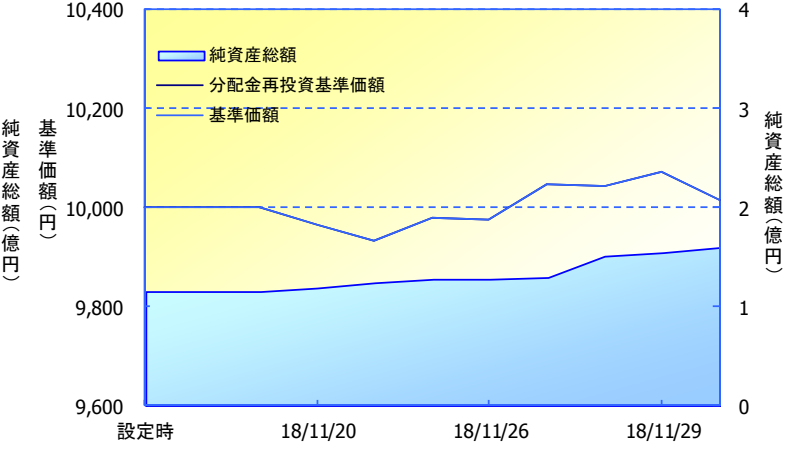


組入ファンド		合計98.7%
ファンド名	比率	
スペイン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド(円ヘッジ・クラス)*	98.6%	
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.2%	

＜為替ヘッジなし＞

基準価額	10,016 円
純資産総額	159百万円

当初設定日(2018年11月16日)～2018年11月30日



組入ファンド		合計95.4%
ファンド名	比率	
スペイン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド(ヘッジなし・クラス)*	95.2%	
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.2%	

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
※組入ファンドの比率は、純資産総額に対するものです。
*ファンド名は略称です。ファンドの詳細については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

《ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンドのポートフォリオ概要》

※比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対するものです。

※以下のポートフォリオ概要は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーの提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。

資産別構成		合計100.0%
資産	比率	
投資適格社債	18.9%	
ハイイールド債券	40.3%	
優先証券	17.7%	
転換社債	6.6%	
株式	14.4%	
現金	2.1%	

ポートフォリオ特性値	
銘柄数	130
最終利回り	6.0
直接利回り	6.2
実効デュレーション	4.8

業種別構成		合計100.0%
業種名	比率	
資本財・サービス	62.8%	
銀行	15.9%	
公益	9.4%	
金融サービス	5.3%	
不動産	4.0%	
保険	2.5%	

国・地域別構成		合計100.0%
国・地域名	比率	
米国	90.4%	
英国	2.8%	
カナダ	4.0%	
フランス	0.5%	
オランダ	0.8%	
ドイツ	0.5%	
ペルー	0.4%	
ベルギー	0.6%	

債券 格付別構成		合計100.0%
格付	比率	
AAA	2.5%	
AA	0.0%	
A	1.5%	
BBB	30.2%	
BB	40.8%	
B	18.1%	
無格付	6.9%	

組入上位10銘柄			合計18.8%
銘柄名	資産名	比率	
VIACOM INC 6 7/8 04/30/36	投資適格社債	2.7%	
BLUE CUBE SPINCO 9 3/4 10/15/23	ハイイールド債券	2.3%	
XPO LOGISTICS 6 1/2 06/15/22 - 144A	ハイイールド債券	2.0%	
HP ENTERPRISE 6.35 10/15/45	投資適格社債	2.0%	
NAVIENT CORP 8 03/25/20	ハイイールド債券	1.8%	
TRINSEO 5 3/8 09/01/25 - 144A	ハイイールド債券	1.7%	
NORDSTROM INC 5 01/15/44	投資適格社債	1.6%	
ALLY FINANCIAL 8 03/15/20	ハイイールド債券	1.6%	
DYNEGY INC 7 5/8 11/01/24	ハイイールド債券	1.5%	
SEMPRA ENERGY 6 3/4 07/15/21	転換社債	1.5%	

※上記データは、11月末時点（現地）のデータを記載しています。
※ポートフォリオ特性値の利回りは、ファンドの組入資産の各特性値（直接利回り、最低利回り等）を、その組入比率で加重平均したものです。
なお株式は配当利回りの値を用いています。
※業種名は、原則としてエヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。
※格付別構成の比率は債券ポートフォリオに対するものです。
※格付別構成については、Moody's、S&Pグローバル・レーティング、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。
※比率の合計が四捨五入の関係で一致しない場合があります。

主要組入企業紹介	
企業名	企業概要
パイアコム	米国の大手メディア企業。テレビ、インターネット、モバイル機器、ゲーム向けの番組を制作する。映画の制作・資金調達・配給も手掛ける。
ブルー・キューブ・スピコ	苛性ソーダ関連製品の販売などに取り組む。同社が発行する債券は親会社である米化学製品大手オーリン社の保証が付いている。
XPOロジスティクス	物流会社。高速航空輸送、倉庫管理、貨物仲介、複合一貫輸送などを提供する。北米全域で事業を展開。
ヒューレット・パッカード・エンタープライズ	世界各地の顧客向けに情報技術ソリューション事業を展開。企業セキュリティ、分析・データ管理、アプリケーション開発・テスト、データセンターケア、クラウド・コンサルティング、ビジネスプロセスサービスなどを提供。
ナビエント	教育ローン・ポートフォリオ管理会社。サービシングと資産回収を手掛ける。民間学生ローンのサービサー業務なども手掛ける。
トリンセオ	化学品メーカー。エマルジョンポリマーおよびプラスチックを製造する。自動車、家庭用電化製品、携帯機器、梱包、タイヤなどに使用される各種プラスチック、ラテックス、合成ゴム製品を提供。世界各地で事業を展開。
ノードストローム	ファッション小売会社。男性、女性、子供用の衣料品、靴、アクセサリーなどを販売。小売店、ディスカウントストア、ブティック、カタログ、インターネットを通して事業を展開。
アライ・ファイナンシャル	米国で事業を展開する金融持株会社。自動車関連の金融サービスを提供する。
ダイナジー	米国の発電・卸電力会社。自社発電設備から卸売ベースで電力供給、発電容量、および付帯サービスを提供する。
センブラ・エナジー	エネルギー・サービスの持株会社。米国、メキシコ、南米諸国で事業を展開。子会社を通して、発電、天然ガス輸送、天然ガスのパイプライン・貯蔵施設の運営、および風力発電プロジェクトの運営を手掛ける。

※エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーの提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。
※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

＜設定来の市場環境＞

（世界の米ドル建資産）

株式市場は、米国の一部のハイテク企業が需要見通しを引き下げたことや欧州では政治的不透明感の高まりなどが嫌気され、下落して始まりました。11月下旬には、G20サミットで米中首脳会談が開催される見通しとなると、貿易摩擦激化への懸念が後退し、下げ幅を縮小しました。しかし、12月以降は、長短金利差の縮小により将来的な米国の景気後退懸念が強まったことや、市場予想を下回った米国雇用統計の発表などを受けて下落基調となりました。

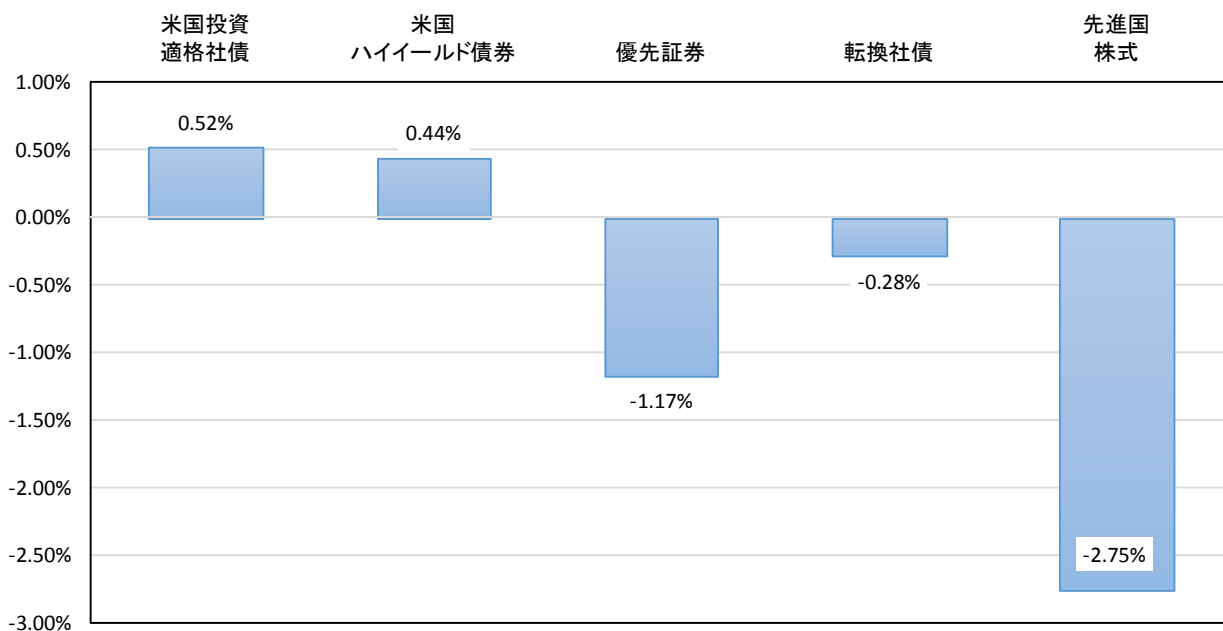
債券市場は、金利はおおむね低下しました（債券価格は上昇）。11月下旬以降、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が現在の政策金利は中立とされるレンジをわずかに下回る水準にあるとの認識を示したことから、利上げペースの鈍化が意識されたことが支援材料となり、金利はおおむね低下しました。このような市場環境下において、当ファンドが投資対象としている、投資適格社債、ハイイールド債券は総じて堅調に推移し、一方で、優先証券や株式は下落しました。

（為替）

為替市場において、米ドルは対円でおおむねレンジでの推移となりました。株式相場下落局面においてリスク回避的な円買い圧力が強まったことや、米国長期金利の低下などから米ドル円は下落しました。しかし、米中首脳会談に対する期待などが米ドルの下支え要因となりました。

資産別設定来騰落率

期間：2018年11月16日～2018年12月12日、米ドルベース



（出所）Bloomberg

当グラフで使用した指数について

「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「転換社債」はICE BofAML US Convertible Index、「先進国株式」はMSCI World Indexを使用。

※記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

<設定来の運用状況>

■投資適格社債

税制改革等景気刺激策や労働市場の改善等を背景に、米国経済は引き続き堅調に成長しています。これを受けて多くの米国企業で好決算がみられていることなどから投資適格社債の組入比率は高位に維持しています。ただし、雇用統計等の経済指標が堅調な結果を示していることなどを背景に金利先高観は根強いことから、デュレーションは市場平均に対して短めとしています。

■ハイイールド債券

米国経済は好調で、投資適格級の企業同様、非投資適格級の発行体もその恩恵を受けています。企業ファンダメンタルズの改善等を受け、非投資適格企業のデフォルト率は過去平均対比で低位な水準で安定的に推移しています。このトレンドは今後も継続するとみている中、当戦略においては高クーポンが享受できるハイイールド債券の組入比率を引き続き高位に維持しています。足元では、相対的に高格付けであるBB格の銘柄中心に組入を行いました。

■優先証券

インフレ懸念及び利上げ観測等を背景に、2018年前半はボラティリティ上昇によるセンチメントの悪化を受け、優先証券は売られる展開となりました。その後、インフレ懸念の後退や、多くの米国企業が好決算を発表したことなどを背景にセンチメントは改善し、相対的に高いインカム収入を享受できる優先証券への需要が高まり、市場は回復基調を示しています。一方、堅調な米国経済を背景に今後も緩やかなペースで金利は上昇するとの見方が大勢で、優先証券においては、特に固定金利の証券は金利上昇による感応度が高いことから、金利動向を注視しています。

■転換社債

足元では、ポートフォリオにおける転換社債の組入比率は相対的に低位な水準に留めておりますが、市場の変動性が高まる局面において、株式から転換社債に配分を変更する可能性もあると考えています。

■株式

米中二国間の関係悪化によって市場ボラティリティが上昇するなど予断を許さない状況が継続しており、また景気の先行き不透明感など潜在的なリスクが意識されることから、徹底したボトム・アップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組入に注力しています。

<今後の見通し>

米国では企業の設備投資及び消費者支出が引き続き改善基調にあること等を背景に、経済成長を続けるとみています。2018年後半の最も大きなイベントの一つであった米国中間選挙は想定通りの結果となり、大きなサプライズなくイベントを消化したことから、トランプ政権による現行の経済政策からの大きな転換はないと考えています。リスク性資産の市場では、引き続き米中貿易摩擦問題の動向に左右される状況が続いており、11月末には米中間で合意に向けた進展があったとの報道を受けて市場は上昇したものの、その後は再び二国間の緊張が高まったことを受け市場は大きく下落するなど、ヘッドラインを受けて市場ボラティリティが高い状況が続いています。今後も両国間で協議が続けられる見通しで最終的には事態を悪化させることなく合意に達すると考えていますが、今後の動向を注視する必要があると考えます。

<今後の運用方針>

当ファンドの資産・アロケーションは、個別企業ごとに資本構成の中で最も投資妙味が高いと考える資産クラスを組み入れる方針です。

足元、早期の景気後退をもたらすようなカリストはみられていない一方、2018年の経済成長をけん引してきた税制改革による景気刺激効果は2019年にかけて徐々に減退することや景気サイクルが後半期へと移行していくこと等を背景に、当戦略では債券資産クラスに関しては今後高クオリティ銘柄の比率を徐々に引き上げ、また普通株式対比で弁済順位の高い優先証券に投資妙味があるとみています。

ポートフォリオ全体としては引き続き投資銘柄及び企業の選定が重要であると考えており、徹底したリサーチを通じて投資妙味のある企業及び証券を選定していくことで、魅力的なリスク調整後リターンが創出が可能であると考えています。

以上

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

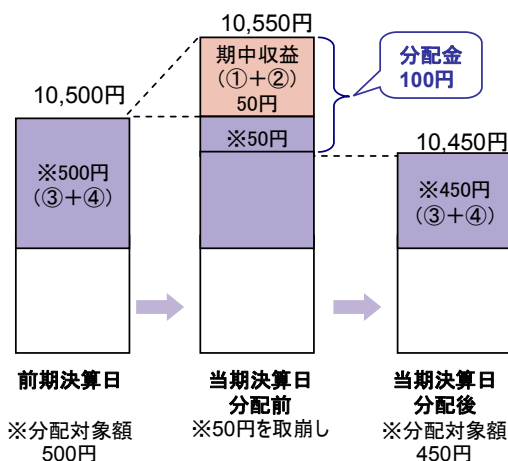
投資信託の純資産

分配金

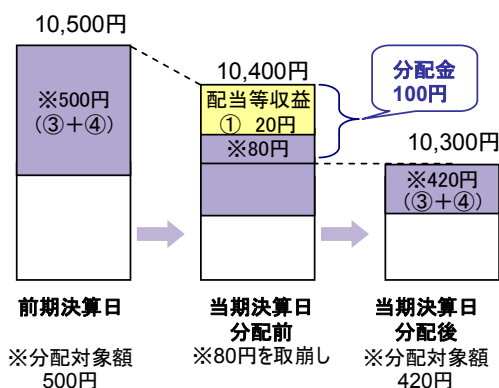
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



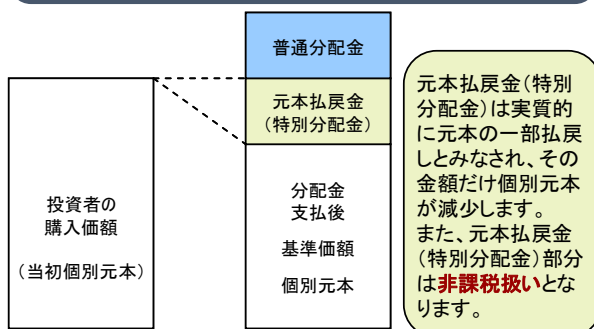
前期決算日から基準価額が下落した場合



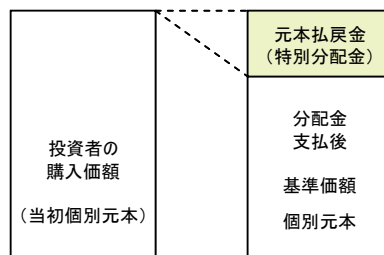
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

NWQグローバル厳選証券ファンド

(為替ヘッジあり／隔月分配型) (為替ヘッジなし／隔月分配型)
(為替ヘッジあり／資産成長型) (為替ヘッジなし／資産成長型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資します。投資にあたっては、有望企業を選別のうえ、その企業が発行する証券の中で相対的に魅力度の高い証券を選択します。
 - ◆ ボトムアップ・アプローチにより、個別企業の財務状況、成長性や価格変動のきっかけとなる事象などに着目した評価・分析を行ない、有望企業を選別します。
 - ◆ 同一企業が異なるタイプの証券を発行している場合は、リスク・リターン効率などに着目して、相対的に魅力度の高い証券に投資します。
 - ◆ 運用は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーが行ないます。

2. 「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」の4つのファンドがあります。

為替ヘッジあり／隔月分配型、為替ヘッジあり／資産成長型

- ◆ 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし／隔月分配型、為替ヘッジなし／資産成長型

- ◆ 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

販売会社によっては「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」のいずれかのお取り扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

3. [隔月分配型] は年6回、[資産成長型] は年2回決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

[隔月分配型]

毎年1、3、5、7、9、11月の各17日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第1計算期間は、2019年3月17日（休業日の場合翌営業日）までとします。

[資産成長型]

毎年3月17日および9月17日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第1計算期間は、2019年3月17日（休業日の場合翌営業日）までとします。

NWQグローバル厳選証券ファンド

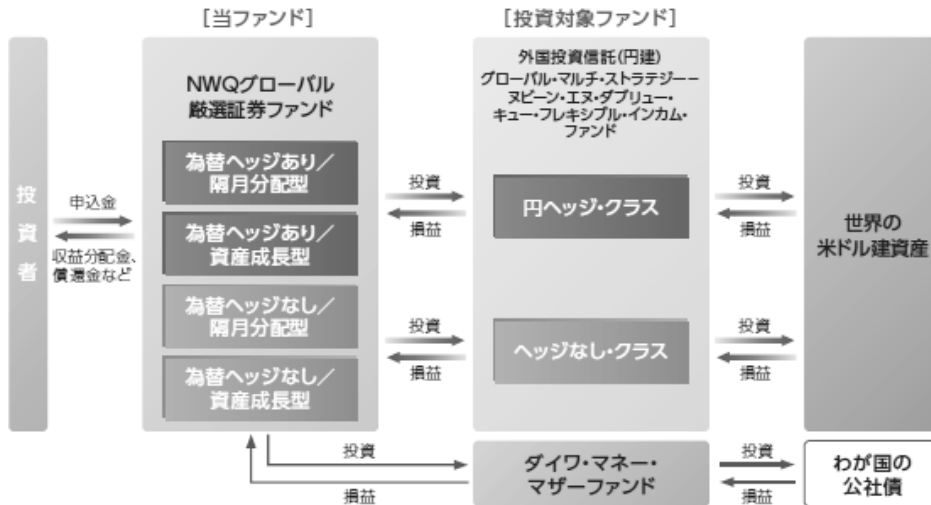
(為替ヘッジあり／隔月分配型) (為替ヘッジなし／隔月分配型)

(為替ヘッジあり／資産成長型) (為替ヘッジなし／資産成長型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
外国投資信託の受益証券を通じて、世界の米ドル建資産に投資します。



- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
- ① NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）：為替ヘッジあり／隔月分配型
- ② NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）：為替ヘッジなし／隔月分配型
- ③ NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）：為替ヘッジあり／資産成長型
- ④ NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）：為替ヘッジなし／資産成長型
- ◆ ①②の総称を「隔月分配型」とします。
- ◆ ③④の総称を「資産成長型」とします。
- ◆ ①②③④の総称を「NWQグローバル厳選証券ファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」は、為替ヘッジを行ないませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジなし／資産成長型」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

NWQグローバル厳選証券ファンド
(為替ヘッジあり／隔月分配型) (為替ヘッジなし／隔月分配型)
(為替ヘッジあり／資産成長型) (為替ヘッジなし／資産成長型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉2.16%(税抜 2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.107% (税抜 1.025%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.55%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.657% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

NWQグローバル厳選証券ファンド

(為替ヘッジあり／隔月分配型) (為替ヘッジなし／隔月分配型)

(為替ヘッジあり／資産形成型) (為替ヘッジなし／資産形成型) (愛称：選択の達人) 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。